# 新しい価値を提案

## エコーマインド オフィス什器や防災も

エコーマインド株式会社（村田和俊社長、大阪市）は、7月8日、大阪市中央区のOMMビルで、「新しい価値を未来に紡ごう！Stationery EXPO」をテーマに、「エコービッグコレクション2025」を開催、文具店、バラエティショップ、納品店、ネットショップなど250社550人が来場して賑わった。

挨拶する村田社長

当日は午前9時から開会式を行い、村田社長は「55年振りに大阪で万博が開催されている。国内市場はシュリンクしているが地球は広い。アフリカ、中東などの諸外国に目を向けるとまだまだ市場開拓の余地はある。各国のパビリオンを巡ると、様々な国が新たな価値を創出、発表している。今日一日弊社と共に新しい価値を提案して、暑さに負けない熱い1日にしたい」と挨拶。

来賓を代表してクツワ・寺浦浩之社長が「55年前に大阪で開かれた万博に私が行ったのは4歳の時で、記憶に残っているのは何故か金魚と重だが、行った記憶が今回の大阪・関西万博に行く動機になっている。エコーマインドは創業112年、弊社の創業年と同じで、先々代からの長いお付き合い。200年に向けて、脈々と事業を継続されることを祈念する」と挨拶。祝電披露の後、士気を高め連帯を深めるため、全社員での記念撮影を行い開場した。

オリジナル工房のコーナー

会場には新規4社を加えて80社が出展、新製品やシーズン商品、売れ筋商品を紹介したほか、ノベルティ商材を紹介した「エコーマインドオリジナル工房」、雑貨店向けにトレンド商品を集めた「雑貨スタイルコーナー」、海外ブランド筆記具を展開した「高級筆記具コーナー」などを多彩に展開した。

「オリジナル工房」のコーナーでは、好評のノベルティカタログ「HIBIKI」（カラー印刷版、41頁）の最新版を紹介。最新版では完全別製アイテムの増量、可能な名入れ範囲や名入れ方法が一目でわかるように改良された。また、同コーナーでは、オフィス什器の取り扱いとオフィスづくりの施工などの業務を紹介。オフィスチェア展示と取り扱いのオフィス家具メーカーブランドを掲示してアピール。

このほか、イベントコーナーでは「生き抜くための防災グッズ」と題して、日常使いから防災に使えるアイテムを厳選して紹介した。

## 那覇市立 小禄小が全国1位に

### ショウワノート ベルマークキャンペーン

ショウワノート株式会社（小沼昌毅社長、東京都）は、2024年1月～12月まで、第51回ベルマークキャンペーンを実施していたが、小学校の部では沖縄・那覇市の小禄小学校が全国第1位に輝いたことから、その表彰式を5月30日午前10時から同小で、美差校長、新垣PTA会長らが出席して開催した。

はじめに比嘉教頭が開会挨拶したあと、小沼社長が「小禄小学校は全国集票数117万2271点のうち、7536点を集票し、全国第1位となった。小禄小学校が全国第1位となるのは3回目。2019年度、2020年度の連覇に続くもので、3回の第1位は2校目で、2連覇の時は、コロナ禍であり、残念ながらここへきて表彰式を開催することができなかった。ジャポニカ学習帳は、今年発売55周年を迎えた。表紙に昆虫や植物のカラー写真を掲載している。写真家の山口先生が2年前に亡くなったが、山口さんは同じ花を何週間も見続けて、一番いいシャッターチャンスを待っていた。このように山口さんは自然との共生を望んでいた。ショウワノートも同じ思いであり、ベルマークの集票も自分たちの学校だけでなく、被災地の学校の支援にも使われており、まさに共生の思想であり、共生という観点からもベルマークの集票に協力していただきたい」と挨拶。

小沼社長㊨と表彰校

続いて、小沼社長から表彰状を美差校長、記念品を真栄平ベルマーク大使に贈呈した。

## ハイキューイベントに出展

同社は、6月7、8日に幕張メッセ国際展示場で開催された「ハイキュー!! FAN PARK」にPOMMOPブースを出展、「ハイキュー!!おみくじ」の先行販売を行い、人気を博した。

同イベントは大人気アニメ「ハイキュー!!」の魅力が勢揃いするファンの集いの場として、事前応募・完全招待制で開催され、女性ファンを中心に3万1514人が来場して賑わった。

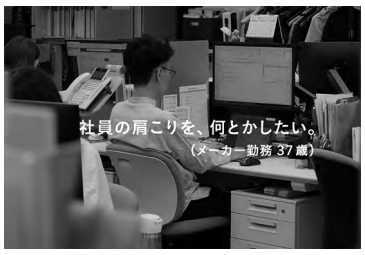
賑わうショウワノートブース

## テプラのCM ギャラクシー賞部門選奨受賞

### O…キングジム

株式会社キングジム（木村美代子社長、東京都）の「テプラ」のCMが、第62回ギャラクシー賞CM部門において選奨を受賞した。

受賞したのは2025年1月27日に公開した、仕事や暮らしを快適にする「テプラ」の意外な活用術を紹介する実証実験型のウェブCM「#おねがいテプラ」シリーズ。仕事や暮らしの中にある課題に対し、「テプラ」でできるユニークな解決アプローチを提案している。



ギャラクシー部門で選奨受賞したオフィス「肩こり編」

オフィス、建設現場、保育園とさまざまな職場の課題を、ラベルプリンター「テプラ」の活用で解決していこうとする実録的な映像シリーズで、内容には提案性もあり、全て成功するとは限らない結末も、むしろ納得性を高めている。

## 朝日広告賞の部門賞を受賞

### パイロットの企業広告

株式会社パイロットコーポレーション（藤﨑文男社長、東京都）が、昨年11月3日（文化の日）に朝日新聞に掲載した2024年の同社企業広告「ペン一本あれば、世界を笑わせたり、泣かせたりできる。」（写真）が、第73回朝日広告賞の部門賞を受賞した。

# 西日本の専門店ネットワーク オエステ会

## 今注目の新製品＆コト10選

### デサキ宮崎店

宮崎市吉村町 東部第二土地区画整理事業地内39街区6

■「ボンボンドロップシール」（クーリア）
ぷっくりとした可愛らしいデザインシール。シールとしては単価が高めだが、20～30代女性にも人気。

■「ウカンムリクリップ新色」（サンスター文具）
シリーズ累計出荷数220万個突破のブックククリップ。待望の新色クリアカラーは季節的に売りやすい。

■「カスタマイズ　オープンリングノート」（リヒトラブ）
パステルカラーの表紙が女性に人気。ノートの表紙は100円台と安価で購入しやすい。

■「ユニボールゼント　シグネチャーモデル」（三菱鉛筆）
シグネチャーモデルが10代～50代男性に人気。自分用のこだわりペンとして購入される。

■「キレーナ」（パイロット）
学生のニーズに応えた新蛍光ペンはラインマーカーでは一番人気。店頭試筆で購入する人が多い。

■「ブロックメモ作家柄各種」（表現社）
作家とのコラボによるデザインメモ。紙質やデザインが良く、便箋としても使うリピーターが多い。

■「アケルキー」（サンスター文具）
3㎝四方のミニサイズながら一般封筒もダンボールも開封可能。テレビで紹介され問い合わせ急増。

■「オレパ」（ソニック）
プリントカッターとミニはさみが1本で使えるタイパ商品。学生向けだが、年齢問わず興味もって購入される。

■「フローチューン」（ぺんてる）
なめらかさを求める人や筆圧が弱い人にもオススメの摩擦レスボールペン。黒の0.5が1番人気。

■「ジェットストリームプライム新色」（三菱鉛筆）
シックなデザインへリニューアル。シングルタイプを自分のための1本として購入される人が多い。

### 店舗掲示板
（お知らせ・イベント情報）

◆デサキ熊本菊陽店は、今秋リニューアルオープンします。来店をお待ちしています。

## 未来屋書店とコラボ

### 金入 八戸市 新店舗「BUNGUU」

株式会社金入（金入健雄社長、青森県八戸市）は、未来屋書店との初のコラボレーション店舗「BUNGUU（ブングー）」を、6月20日、宮城県名取市のイオンモール名取3階にオープンした。

ミュージアムショップ運営や東北の手仕事の発信を通じて暮らしと文化の創造に取り組んできた同社と、新しい書店づくりに挑戦し続ける未来屋書店が、「東北の文化を未来につなげたい」という想いのもと、それぞれの強みを活かし新たな書店体験を創出する。

金入は1947年に青森県八戸市で文具専門店として創業以来、暮らしと文化の創造に寄り添い、「東北の文化を未来につなげたい」という想いのもと、八戸ポータルミュージアム、せんだいメディアテーク内におけるミュージアムショップの運営や、東北の手仕事を発信する東北スタンダードマーケットの運営など、これまで東北各地に9店舗を展開している。

「BUNGUU」では、これまで取り扱いのある取り揃える。

「BUNGUU」店

## 知育玩具市場へ参入

### アサヒ商会 ブランドと専門店展開

株式会社アサヒ商会（廣瀬一成社長、群馬県高崎市）は、同社初となる知育玩具専門店「Hi—NOTE Genius（ハイノートジーニアス）」を7月3日、イオンモール高崎に新規オープンした。

早期教育への関心の高まりとともに、遊びながら学べる知育玩具のニーズの増加を背景に、群馬県内で展開する文房具専門店「Hi—NOTE（ハイノート）」での知育玩具の提案に加え、別ブランド「Hi—NOTE Genius」を立ち上げ、本格的に知育玩具市場に参入。知育玩具の販売を通じて、子どもたちの創造性、思考力、問題解決能力といった、未来を生き抜くために必要な力を育むことを目指す。また、保護者に対して、子どもの成長に合わせた玩具選びや遊び方に関する情報提供を行い、子育てをサポートする。

店内には、商品を手に取って自由に遊べる体験型スペースの設置のほか、子どもの知的好奇心を刺激する様々なイベントやワークショップを定期的に開催予定。

商品ラインアップは、「子どもに買い与えたくなる商品」をコンセプトに、安全性と教育的価値に優れた国内外の知育玩具を厳選して

ハイノートジーニアス店

## 文具マルシェを初開催

### 神戸阪急と有隣堂

神戸阪急は、7月2～7日に本館9階催場で、「おとなわたしの文具マルシェ2025 The Stationery for My Style by YURINDO」を開催。

同催事は、有隣堂とのコラボで、昨年に次ぎ2回目となるが、文房具に特化したイベントは今回初。テーマは「おとなのわたしと文房具」をテーマに、〝暮らしを豊かにする道具〟と捉え、有隣堂の目利きバーヤーが6つの切り口（書く、描く、切る、伝える、記す、貼る）でセレクトした文房具を多数紹介。

また、有隣堂の公式YouTubeの出演者としても人気の文房具バイヤー岡﨑弘子さんが手がける「岡﨑百貨店」の出張出店やワークショップも展開。